

公務員の学校へ通っています。就職が決まっております。4月から労働局に勤める予定です。労働局を選んだ理由は、人のために働きたいと思い、特に労働関係で困っている方のために働きたいと思ったからです。

趣味は散歩でほぼ毎日歩いています。3kmほど歩き、季節の移ろいを感じることで気分をリフレッシュできます。こもって勉強をしていたので健康のために始め、2年くらいずっと続けています。

今は労働関係の法律の勉強をしています。知らないことばかりで常に新鮮味があります。就職でなりたい目標を叶えましたが、これからは感謝されるような職員になりたいと思っています。

高校では囲碁・将棋部へ所属しており、今でも高知城の下へ将棋をたまに見に行っているそうです。

趣味は散歩！



と かし けんいちろう
戸梶 賢一郎さん (篠原)

チャレンジしてます！



かわそえ まな
川添 万菜さん (小籠)

にっぽんライフ

204



なんこく歴史散歩

第72回

土佐の赤ひげ先生 楠正興



高知城の頌徳碑

り、医業を再開しました。週に1回は高知城下北門筋に出張して診療を続けましたが、患者の要望もあり追手筋に医院を開業しました。

明治13年、医師の養成を目指し、岡村景楼、山崎立生と共に私立医学学校を創立しました。

県立病院長に招かれたこともありましたが、それを受けませんでした。患者に対しては常に親切な態度で接し信頼されていました。生涯結髪のままで過ごして明治20年に59歳で逝去しました。

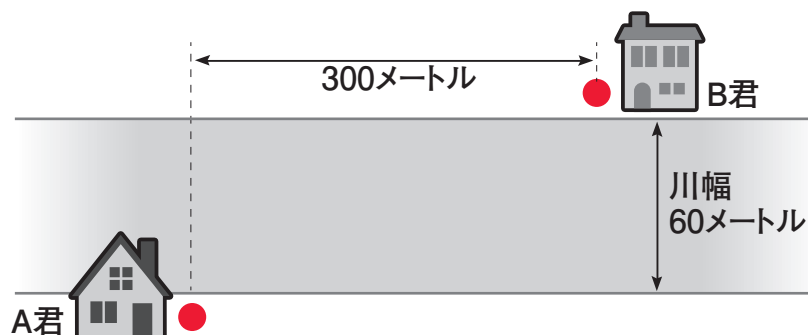
高知城杉の段には明治23年に門人によって建てられた頌徳碑があります。

■問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎802・6062

親子クイズ 561

Q 下の図のように、60メートルの川幅の両岸に仲良しのA君とB君の家があります。すぐ近くに橋はありません。

橋を架けるとしたら、どのように橋を架けたらA君とB君の家の最短距離になるでしょうか？図で示して下さい。(ただし、川幅は一定で橋は斜めには架けられないものとします)



■応募締切／2月8日(金)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／30通 ★正解率／7%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

【第560回解答】

- ①インドガン ②カリフォルニアアシカ
- ③コツメカワウソ ④ワオキツネザル
- ⑤ブチハイエナ ⑥オオカンガルー
- ⑦レッサーパンダ ⑧チンパンジー
- ⑨ハシビロコウ ⑩カピバラ

※正解者少数のため、③をツメナシカワウソと書いた方から追加当選としています。

【第560回当選者】

- 藤田 朗楽 (大堀甲)
- 北代 明日香 (岡豊町)
- 小松 豪 (比江)
- 永野 明 (蛭が丘)
- 山本 孝太郎 (十市)

ふれあいつながり 93 人権学習シリーズ

4月から新しい職場に異動し、慣れない環境で何でもないことにも緊張していることが多かったのですが、ある出来事がきっかけで温かい気持ちになれ、今では安心した気持ちで過ごすことができるようになりました。

私がよく利用しているトイレのことです。ある日トイレに入ったとき、トイレトーパーホルダーの上の棚に、新しいトイレトーパーが置かれていたのに気づきました。よく見てみると、ホルダーにあるトイレトーパーの残りが少なくなっていました。しかし、その時はその状況を見て特に思うことはありませんでした。しばらくして再びトイレに入ったとき、トイレトーパーがあの時と同じように棚に置かれていたことに気づきました。その個室を出たとき隣をのぞくと、同じようにトイレトーパーが置かれていたのでした。私はこの時、誰かが見えない相手のことを考えて、新しいトイレトーパーを置いてくれたのだと気づき、とても温かい気持ちになったのでした。それまでずっと残っていた緊張感がふっとほぐれた時でもありませんでした。

見えない相手のことを考えて…

そんなことを考えていると、テレビの番組の中であるタレントが子育てについて話していたことを思い出しました。その方の家庭では、トイレを使った時トイレトーパーの残りが少なくなっていたら、新しいものに取り替えておかなければならぬルールがあるということでした。その話を聞いた時、最初は、なぜトイレトーパーにこだわるのか分かりませんでした。しかししばらくその人の話を聞いていくうちに、その方がわが子には、「自分だけ良ければいい」という考えではなく、見えない相手のことを考えて行動できる人になつてほしいとそうしているのだということに気づき、その方針に納得したのでした。

見えない相手のことを考えて、ちよと手間のかかることでも行動に移せる、そんな人になろうと改めて思わされた出来事でした。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569